

## 第1回 総合的な交通のあり方検討会議 議事要旨

日 時：令和4年8月26日（金） 15：00～16：10

出席者：別紙のとおり

場所：大阪府庁別館7階会議室（公園課 分室）

### 議事1. 検討の進め方について

- ・事務局より、資料1、参考資料1について説明
- ・質疑応答・意見なし

### 議事2. 中間とりまとめ案<たたき台>について

- ・事務局より、資料2、参考資料2について説明
- ・質疑応答・意見は以下のとおり。

（大阪市都市交通局次長）

- P6の最後の文章にある「路線バスをBRT等に」の「等」は何を想定しているのか。地下鉄の代わりにBRTを導入する事例もあるため、路線バスに限定せず、「既存交通をBRTに」という表現の方が合うのではないか。

（事務局）

- バスを高機能化するという趣旨で、一例としてBRTを記載している。路線バスを自動運転や低床化したり、高機能のバス停にしたりということを想定。BRTよりももっと先進的なイメージの湧くいい表現にしたいと思う。

（大阪市都市交通局次長）

- BRTが古い感じがするのであれば、「新しい交通システム」という表現やスマートバス停等の仕組みもあるのでそういった表現にしても良い。

（大阪府都市整備部道路室長）

- 懇話会において「大阪の特色を活かした交通」として、「まずは「目指す大阪のまち」の方向性を決めるべき」や「世界遺産を有することが大阪の強み」という意見が出ている。たたき台では、1「はじめに」から、2「今後の交通に求められること」にいきなり進んでいるが、あくまでも交通は手段である。目指すべき大阪がどういったものなのかを入れておいた方が良いのではないか。
- P9に「魅力ある交通システムにより、大阪・関西にヒト・モノを呼び込む」とあるが、手段である交通のシステムを作ることで、人を呼び込むというのは、違和感を感じる。
- 陸・海・空の交通をどう横串していくか、メッセージとしてどう打ち出していくのかということを議論するべき。

(事務局)

- 目指すべき大阪のまちについては、グランドデザインで打ち出しているもの等、まちづくりのエッセンスはここにも入れておくべきかと考えるため、引き続き検討したい。
- 「システムを作って人を呼び込む」という部分については、修文するなどして検討したい。
- 陸・海・空の交通の横串については、MaaS や港湾の連携などを入れているが、売りになるような見せ方の工夫を検討していきたい。

(大阪府都市整備部交通戦略室長)

- 陸・海・空の交通の横串の部分については、それぞれの方向性の中で少しずつ滲み出そうとしているが、本検討の冠の部分になると思うので、皆さんと検討していきたい。

(大阪府都市整備部道路室長)

- それぞれの項目の中に埋もれてしまっているので、あえてとんがらせて強調させるという方法もあるのではないかと考える。

(大阪府都市整備部交通戦略室長)

- イメージしやすいようにイラスト (パース) のアイデアを出していくと、意見も出やすくなるのではないかと考える。

(事務局)

- 先ほどの、交通は手段だという意見について、移動手段としての使い方が一般的ではあるが、移動自体を楽しむということで、交通自体が目的になるのではないかと考えている。時間を楽しむための観光列車も人気が出ており、交通は手段だけじゃないという趣旨も取り入れていきたい。

(堺市建築都市局都心未来創造部長)

- 陸・海・空の交通の横串について、万博の検討の中で、陸上交通で行けない場所へ緊急時やタクシーとして空飛ぶクルマを使おうとしており、そういったところを大阪の特徴として触れることで、交通同士の繋がりにもなるのではと思う。

(事務局)

- 万博のレガシー、特に、空飛ぶクルマは絵にも描きやすいと思うので、そういったところで連携の部分を表現していきたい。

(堺市建築都市局交通部長)

- 30 年後の絵をイメージするのは難しい。事務局も苦労されていると思う。今考えられることはほぼ網羅されているようにも思うが、どこでも使えるようにも見えてしまう。陸・海・空の交通の横串がポイントになるのであれば、モード間の連携について、陸上交通だけでなく、海も空も含めてのシームレス化等について言及できると良い。
- P10 にある隊列走行専用レーン整備などは、30 年後には自動車の自動運転がレベル 4 となっていると想定される。P13 のドラレコを使った活用も 30 年後には古いのでは？

(事務局)

- 具体的にイメージしてもらうため、例示しているが、例示するものがどうしても今ある技術となってしまう。現時点で見えている取組は、30年後には実装できているという表現にする等、検討したい。

(大阪港湾局計画整備部事業戦略担当部長)

- カーボンニュートラルの部分は、文章にゼロエミッション、CO2 排出量削減、カーボンニュートラル等の様々な言葉が出ている。環境部局と整合を図っておく必要がある。

(大阪市計画調整局交通政策室長)

- 「めざすこと」と「実現すること」は違うので、どこまで夢を描くのかは難しいところ。移動ニーズが多様化している中で、交通サービスとして「公共」をどう扱っていくのか、公共交通の位置づけが変わる可能性もあるのではないかと思う。例えば、空飛ぶクルマやシェアサイクル等の移動手段も出てきており、サービスの捉え方も考えてはどうか。
- グリーンスローモビリティは、環境にやさしい交通だと思うが、スローなモビリティとして、ゆっくり移動が楽しめる交通という視点も入れてはどうか。
- 災害という点では、早期に復旧できる移動手段や、複数の移動手段を選択できるような交通インフラが実現すると良いと思う。この様な視点を加えて、移動困難者が出ないすがたを入れてはどうか。

(大阪府スマートシティ戦略部戦略推進室長)

- P15「めざすべき姿の実現に向けて」の「デジタル技術の活用」の部分について、30年後に向けて、どういうことを書けばいいのか、有識者の声も聞きながら検討していきたい。

(大阪府都市整備部河川室長)

- 3つの取組の方向性とめざすべき姿はわかりやすいと思うが、その下の箇条書きの部分は、関係者の皆さんにこんなことを反映してくださいという取り扱いと捉えておけばよいか。それとも、本当に実現しないといけないものという扱いか。

(事務局)

- 前者だと考えている。関係者に共有する道しるべ、指針になればよいと考えている。

(堺市建築都市部都心未来創造部長)

- 交通は事業者の役割も大きいと思うが、意見交換はどの様な形で行っていくのか。

(事務局)

- 具体的に決まっていないが、中間とりまとめのたたき台をベースに、経済団体、物流関係、鉄道事業者などと意見交換を行うことを考えている。詳細は、また共有させていただく。

(大阪都市計画局計画推進室長)

- グランドデザインの検討にあたり、経済団体や鉄道事業者とも議論している。今回の交通のあり方検討とも重複する部分もあると思うので、整合を図っておいていただきたい。

(大阪府スマートシティ戦略部戦略推進室長)

- 自動運転について、物流などのことでは記載されているようだが、マイカーに関する自動運転については記載していないのか。

(事務局)

- 方向性 3・めざすべき姿②の交通利用者の安全確保の部分には記載しているが、今はこういう視点でしか書けていないので、今後、検討する

### 議事 3. その他

- ・意見等なし。